

大台ヶ原・大峯山・大杉谷

ユネスコエコパーク エクスカーション

三重県大台町

2025年

11月1日(土) 10:00~16:30

※雨天決行（荒天の場合は中止します）

申込は
先着順

奈良県と三重県にまたがる山岳地域に、世界的価値が認められたユネスコエコパーク（生物圏保存地域）があります。しかし、その存在や価値は、まだまだ知られていません。

そこで、現地で五感を使って学ぶ機会をつくりました！ 今回のフィールドは奈良県内ではなく、三重県側で唯一認定されたエリアである大台町！ ここでは清流宮川や豊かな森林資源を活用した取り組みが行われています。チョウザメ養殖場、地域性苗木の畑、企業の森、滝、アロマ・燻製施設などを訪ねてこの地の自然・文化とそれらを活かした産業に触れ、体験や交流を通じてユネスコエコパークとESD（持続可能な開発のための教育）への理解を深めましょう。

ユネスコエコパーク協議会のスタッフと奈良教育大学の教員（河本大地）＆学生がご案内します。

- 対象：教職員、行政関係者、SNS等で活動を発信できる方（いずれも現地集合・解散が可能な方）
- 定員：10名
- 集合・解散：大台町役場 玄関前（三重県多気郡大台町）

プログラム

10:00

現地集合

10:30~15:15

大台町内各所を訪問（昼食も）

15:15~16:30

振り返りワークショップ

16:30

現地解散

持ち物

雨具
飲み物
筆記用具

服装

歩きやすい服装
歩きやすい靴
帽子



奈良教育大学の
ならやまオープンセ
ミナー（公開講座）と
して開催するよ！

※ お申し込み・お問い合わせは裏面をご覧ください。



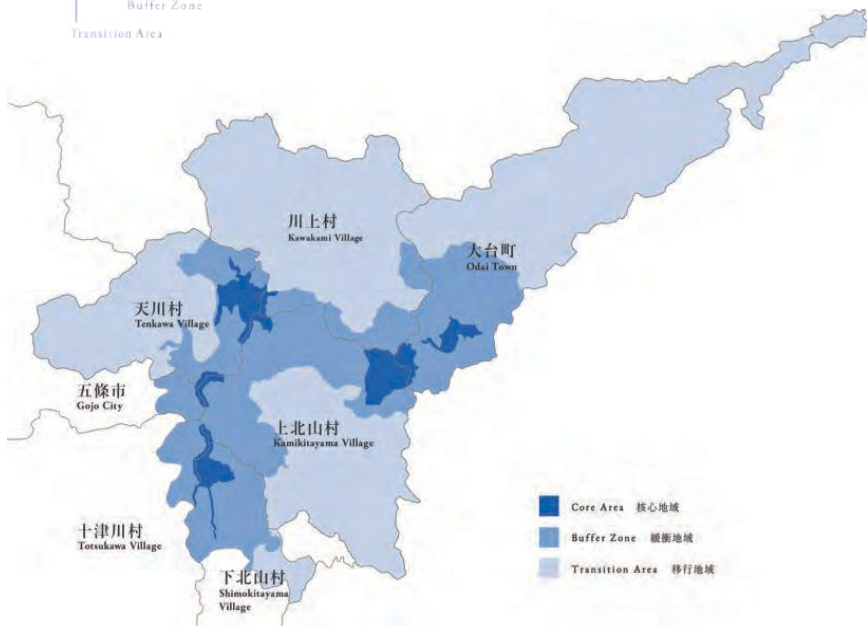
大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークとは？

「ユネスコエコパーク」は、豊かな生態系や生物多様性を守りながら文化的・経済的・社会的に持続可能な発展を目指している地域として、国際連合教育科学文化機関「ユネスコ」が認定している「生物圏保存地域（Biosphere Reserve）」の日本での通称です。「世界自然遺産」が原生の自然環境保護を目的とするのに対し、「ユネスコエコパーク」の目的は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和。すなわち自然と人間社会の共生を目指す取り組みです。2024年末現在、世界では136か国の759地域が、このうち日本では10地域が登録されています。当ユネスコエコパークは、紀伊半島の中央部、三重県の大台町と奈良県の上北山村・川上村・五條市・下北山村・天川村・十津川村をまたぐ地域で構成されています。



3つの機能と3つのゾーン

「ユネスコエコパーク」には、“生物多様性を保全する”“学術的研究支援を行う”“経済と社会を発展させる”という3つの機能があります。その機能を果たすために「核心地域」「緩衝地域」「移行地域」の3つのゾーンを設定しています。



核心地域 Core Area

生物多様性を保全する
多様な生態系が保たれている、生物多様性の保全上、最重要とされる地域。法律などによって厳格に保護し、長期的に保存しています。



緩衝地域 Buffer Zone

学術的研究支援を行う
「核心地域」のバッファーとなる地域。持続可能な発展のための調査や研究、エコツーリズムや環境教育の場を提供しています。



移行地域 Transition Area

経済と社会を発展させる
自然と共に発展する暮らしのモデルとなる地域。居住区で、持続可能性を伴う地域社会の発展や経済活動が図られています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。
<https://ooobr.jp/>



プログラム

10:00
大台町役場 集合

10:30
大台町内各所を訪問

15:15～
ワークショップ

16:30
大台町役場 解散

参加費

1000円
(地産地消の
昼食弁当代・実費)

参加対象

教職員、行政関係者、SNS等で活動を発信できる方
(いずれも現地集合・解散が可能な方)

お申し込み
お問い合わせ

大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク推進協議会事務局
(奈良県下北山村役場地域振興課内)

TEL 0746-86-0074

Mail iju@vill.shimokitayama.lg.jp

お申し込みはこちらから↓

